別添1　企画競争評価項目一覧

評価項目		仕様書番号	評価基準	評価方法				配点（加点対象のみ）
				評価区分		評価方法	評価	
1. 本業務への理解								
1	本調達の背景、目的に係る理解	全体	・調達仕様書等を参照し、本調達の背景・目的及び対象とする業務・システムに関する理解が十分であることが示されているか。	加点	一般	提案の絶対評価	A	20
							B	15
							C	10
							D	5
							E	0
2	作業スケジュール	1（4）	・調達仕様書に示すスケジュールを踏まえて、具体化された作業スケジュールが示されているか。 ・作業スケジュールは、関連する他システム等の調達スケジュール及び導入スケジュールと整合性が取れた内容となっているか。 ・作業スケジュールは、本システムと同種のシステム導入実績に基づく等、実現性や妥当性がある内容となっているか。	加点	一般	提案の絶対評価	A	20
							B	15
							C	10
							D	5
							E	0
2. 作業の実施内容								
1	設計・開発に係る作業内容	4	・要件定義、設計・開発・テスト、受入テスト支援、教育等の作業内容について、調達仕様書の作業要件を踏まえて、作業内容が具体的に示されているか。 ・作業内容について、本市、本業務の受託者、関連事業者等との役割分担及び責任範囲等が明確に示されているか。 ・効率的かつ効果的に作業を遂行する上での工夫点等で、本市にとって有益となる内容が具体的に示されているか。	加点	最重要	提案の絶対評価	A	80
							B	60
							C	40
							D	20
							E	0
3. 満たすべき要件								
1	業務要件	3	・本市における現状業務・システム等の課題に対して、受託者の提案するシステムの導入により業務効率化が図れる場合、その具体的内容及び効果が示されているか。	加点	一般	提案の絶対評価	A	20
							B	15
							C	10
							D	5
							E	0
2	機能要件	3，4	・調達仕様書に示された機能要件について、機能要件ごとに本業務の受託者が提案するシステムによる対応可否等が全て明示されているか。	必須	必須	該当する内容が記載されていないと判断される場合には失格	―	―
3		3，4	・調達仕様書に示された機能要件が「必須」のものは、企画競争評価基準書の「3. 評価点の評価方法（1)機能要件の採点方法 ア. 機能要件（必須）の採点方法」の基準に基づき評価する。 ・上記評価において、評価基準の失格に該当する提案がされている場合、失格とする。	必須 加点	必須 その他	提案の絶対評価	機能単位で評価	100
4		3，4	・調達仕様書に示された機能要件の「任意」のものは、企画競争評価基準書の「3. 評価点の評価方法（1)機能要件の採点方法 イ. 機能要件（任意）の採点方法」の基準に基づき評価する。	加点	その他	提案の絶対評価	機能単位で評価	160
5		3，4	・調達仕様書に示された機能要件以外に、本市にとって有用・有益と想定される機能提供に関する追加提案があるか。	加点	重要	提案の絶対評価	A	40
							B	30
							C	20
							D	10
							E	0
6	非機能要件	3，4	・非機能要件対応表に示された非機能要件の「任意」のものは、企画競争評価基準書の「3. 評価点の評価方法（2)非機能要件の採点方法 イ. 非機能要件（任意）の採点方法」の基準に基づき評価する。	加点	その他	提案の絶対評価	非機能単位で評価	80
7		3，4	・要件定義書に示された非機能要件に基づき、本システムの稼働環境について、システム全体構成が図示等により具体的に示されているか。	必須	必須	該当する内容が記載されていないと判断される場合には失格	―	―
4. 作業の実施体制・方法								
1	作業の実施体制	5（1）	・業務従事者一覧で提出する本業務の受託者の実施体制図が記載され、担当者が確定している要員全員の氏名が明記されており、調達仕様書に記載された実施体制に係る要件を全て充足しているか。 ・各要員について、本業務への配属期間、本業務以外の業務との兼任の有無、兼任の場合は、本業務への関与割合が示されているか。 ・本業務の一部を調達仕様書の「再委託」の要件を踏まえた上で第三者に再委託する場合、再委託先の事業者名、再委託する業務の範囲が明示されているか。	必須	必須	該当する内容が記載されていないと判断される場合には失格	―	―
2	作業要員に求める資格等の要件	5（2）	・調達仕様書の「作業要員に求める実績等の要件」に示した資格要件について、適合証明書で提出する資格認定証等の写しで要件を満たしていることが示されているか。 ・調達仕様書の「作業要員に求める実績等の要件」に示した経験・実績の要件について、業務従事者一覧で提出する過去の実務経歴等から満たしていることが示されているか。	必須	必須	提案の絶対評価	―	―
3		5（2）	・業務従事者一覧で提出する過去の実務経歴等から、本業務に適した経験を有する要員が選定され、役割や体制が具体的であり、人数や他業務との兼任状況についても、本業務に必要十分な体制であることが示されているか。	加点	重要	提案の絶対評価	A	40
							B	30
							C	20
							D	10
							E	0
4	実施責任者	5（2）	業務従事者一覧で提出する内容に基づき、以下の点を評価する。 ・地方公共団体において、本システムと同種のシステム構築の実施責任者（プロジェクトマネージャー）としての経験を複数有しているか。もしくはそれに準ずる経験を持つもの。 ・本業務において有用となる資格（以下に例示）を有しているか。 ① 情報処理の促進に関する法律に基づき実施される情報処理技術者試験のうちプロジェクトマネージャ試験の合格者 ② PMIが認定するPMPの資格	加点	最重要	提案の絶対評価	A	80
							B	60
							C	40
							D	20
							E	0
5	チームリーダー及び担当者	5（2）	業務従事者一覧で提出する内容に基づき、以下の点を評価する。 ・地方公共団体において、本システムと同種のシステム構築の経験を複数有しているか。 ・チームリーダー及び担当者のうち少なくとも1名について、本業務において有用となる資格（以下に例示）を有しているか。 ① 情報処理の促進に関する法律に基づき実施される情報処理技術者試験のうち高度試験の合格者	加点	重要	提案の絶対評価	A	40
							B	30
							C	20
							D	10
							E	0
5. 企業実績等								
1	提案参加資格	8（1）	・調達仕様書の「公的な資格や認証等の取得」に示した公的な資格や認証等について、適合証明書で提出する認定証等の写しで要件を満たしていることが示されているか。 ・調達仕様書の「提案参加要件」に示した受注実績について、業務受託実績一覧で提出する受注実績の証明（契約書の写し等）から満たしていることが示されているか。	必須	必須	該当する内容が記載されていないと判断される場合には失格	―	―
2	事業者の実績	全体	業務受託実績一覧で提出する内容に基づき、以下の点を評価する。 ・人口20万人以上の地方公共団体、政令指定都市や中核市において稼働実績が5年以上あるパッケージシステムであるか。 ・本システムと同種のシステム構築（設計・開発）の受託実績を多数有しているか。 ・県内、または近隣県において本システムと同種のシステム導入実績があるか。	加点	最重要	提案の絶対評価	A	80
							B	60
							C	40
							D	20
							E	0
6. その他								
1	プレゼンテーション	―	・プレゼンテーション内容について、提案内容が簡潔かつ具体的に説明されているか。また、説明内容が分かりやすいか。 ・本市からの質問に対して、曖昧な回答ではなく、端的に明確な回答がされているか。 ・本市からの質問に対して、自社の提案内容を正しく理解していることが判断できる回答がされているか。 ・本市からの質問に対して、本市の要求事項を正しく理解していることが判断できる回答がされているか。 ・発表者の本業務に対する取り組み姿勢について、責任感があり積極的で熱意が感じられるか。	加点	重要	提案の絶対評価	A	40
							B	30
							C	20
							D	10
							E	0
合計点								800